

平成27年9月17日
財 務 局

スタンダード&プアーズ社による都の格付け変更に対する 知事コメント

スタンダード&プアーズ（S&P）社は、平成27年9月16日に日本国の格付け（長期）を「A+」に引き下げ、本日、東京都の格付けについても「A+」に引き下げました。

このことに関する東京都知事のコメントを発表しましたので、お知らせします。

〔問い合わせ先〕
財務局主計部公債課
電話 03-5388-2683

スタンダード&プアーズ社による都の格付け変更に対する 知事コメント

今回の格付けの変更は、国の格付けの引き下げを理由として行われたものであり、都の財政状況に起因するものではない。

都の自主財源基盤は強固で、財政の健全性も高い水準にあることは、かねてから、S & P社自身が認めている。

S & P社は、国の格付けの制約を受ける前の都自身の信用力（スタンダードアローン評価）について公表し、従前から、国を上回るレベルである「a a」としている。格下げが行われた現在もなお、都のスタンダードアローン評価については「a a」が維持されており、都財政の健全性については、引き続き、高く評価されている。

一方で、S & P社は、日本の税財政制度が、中央集権的であることから、自治体の格付けについて、事実上国の格付けを上限としており、今般、国の格付けの引き下げを契機に、格付けを付与されている他自治体とともに、都の格付けの引き下げに及んだ。

都は、今後とも内部努力や施策の見直しなど自己改革の取組を徹底しつつ、強固な財政基盤を堅持し、都債の安全性を細心の注意を払って維持していく考えである。

平成27年9月17日

東京都知事 舛添 要一